

# COVID-19 パンデミックにおける医療従事者の適切な保護と医療リソースの適正化

Associação Fundo de Incentivo a Pesquisa - AFIP  
(ブラジル、サンパウロ)

## 主なパートナー / 関係者

Debora Ribeiro Ramadan | Tatiane Rodrigues dos Santos | Josué Augusto do Amaral Rocha |  
Cristiane Franca Ferreira | Paulo Eduardo de Andrade Souza

Sistema Único de Saúde (SUS) は約 1 億 9,000 万人にサービスを提供する世界最大の公的医療制度です。SUS はブラジルの 8 州にまたがる民間非営利慈善団体「Associação Fundo de Incentivo a Pesquisa (AFIP)」と呼ばれる組織により運営されています。AFIP は約 3000 人の従業員を擁し、毎月 600 万件を超える臨床検査を実施しています。

COVID-19 に関連する不確実性と、診断・治療施設へのアクセス制限、SARS-CoV2 がどの程度の潜伏期があるかなど COVID-19 の情報が限られ、医療従事者の安全性が懸念される状況を踏まえ、AFIP は新しいヘルスプログラムを提案しました。この健康プログラムには、COVID-19 パンデミックに対する取り組みの促進を支援するために設立された、様々な専門家で構成される委員会が含まれています。委員会は、従業員の健康管理を促進するため、既存プログラムの Cuidando de Quem Cuida (CQC) を用いて、AFIP の従業員とその家族のための新しい健康支援策を策定し、導入しました。

この新しいヘルスケアプログラムは、COVID-19 を迅速に診断しながら、新たな感染者のモニタリングと予防を実施し、さらには、メンタルケアを必要とする人々に提供することで、COVID-19 パンデミックの影響を最小限に抑えることに貢献しました。AFIP の検査室では、従業員とその家族の 3500 を超える検体について、従業員は無料で、家族については割引料金で、リアルタイム PCR 検査を実施しました。さらには、CQC プログラムを通じて提供されたメンタルサポートは、著しく不確実で健康と生活へのリスクを伴う困難な日々を乗り切ることに貢献しました。より適切な管理と、より迅速で積極的な意思決定を行うことを目的に、すべての活動はビジネスインテリジェントツールを通してモニタリングされました。

この取り組みにより 6 カ所の新しい検体採取施設が設置され、従業員とその家族による検査へのアクセスが大幅に改善されました。またそれによって、患者は自身の COVID-19 の状況を適切に把握できるようになりました。COVID-19 陽性であることを早めに知ることで、事前の隔離処置が可能になり、その一方で人員配置やリスク軽減のための見通しもできるようになります。また CQC プログラムは、国内外の最新の COVID-19 ガイドラインの更新に関する主要な情報源であり、社内におけるパンデミックの様々な段階における意思決定やプロトコル作成に役立ちました。



**UNIVANTS**<sup>™</sup>  
OF HEALTHCARE EXCELLENCE